

災害から 地域防災力向上を考える

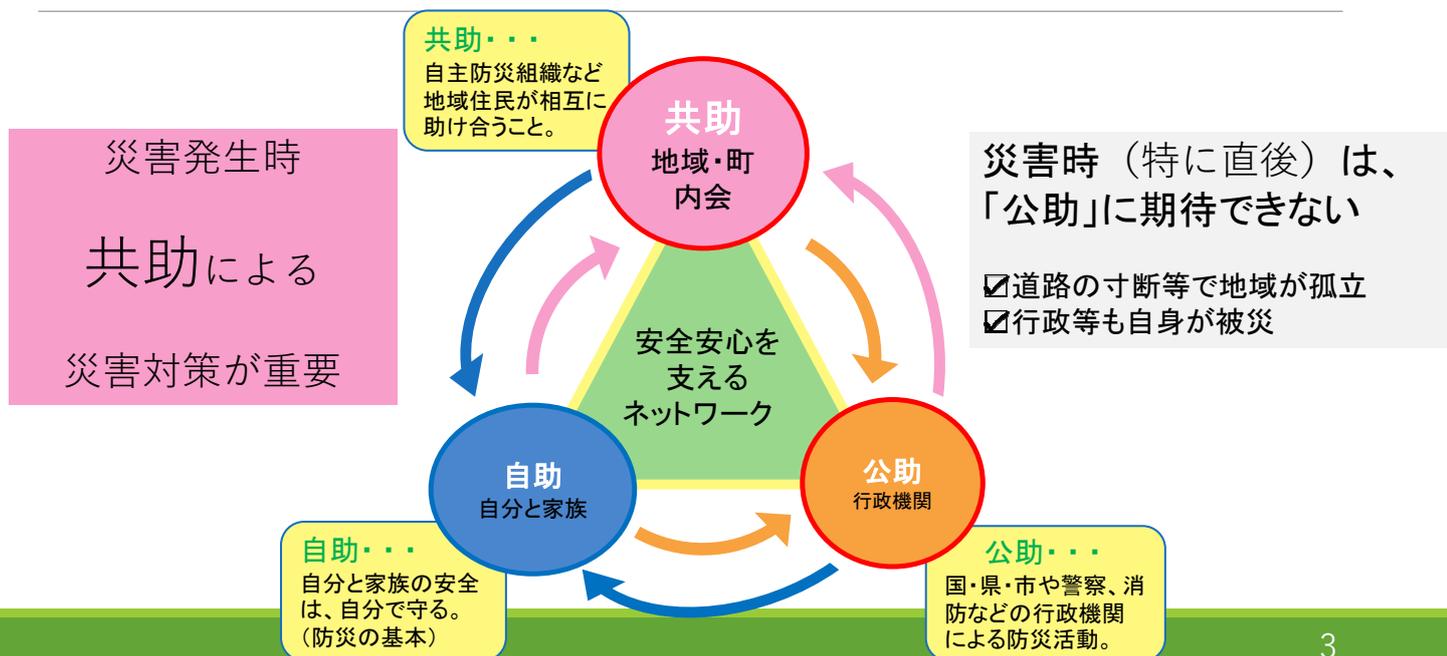


今年度、西目地域で行われた防災訓練の様子(左：車両からけが人を救出。 右：津波避難タワーに地域住民が避難)

誰もが安全安心して暮らせる
災害に強いまちを目指して

由利本荘市

防災・減災のキーワード



3

災害から身を守る

避難とは！？

「難を避けること」

「避難所へ行く」は、手段の
一つであり、
避難の「目的」ではない



4

避難の種類【立ち退き避難】

災害リスクのある区域等の居住者などが、その場を離れ、対象とする災害に対し、安全な場所に移動すること。



避難の種類【屋内安全確保/在宅避難】

洪水の時：上階へ移動し、身の安全を確保すること

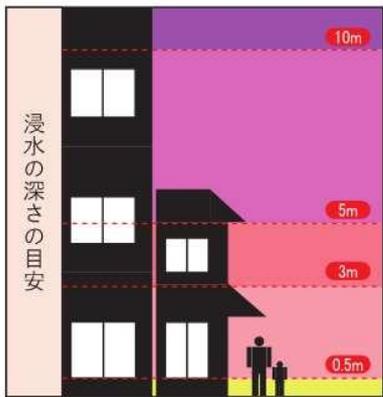
地震の時：建物への被害が少なく、住むことが可能な場合は、「在宅避難」

屋内安全確保

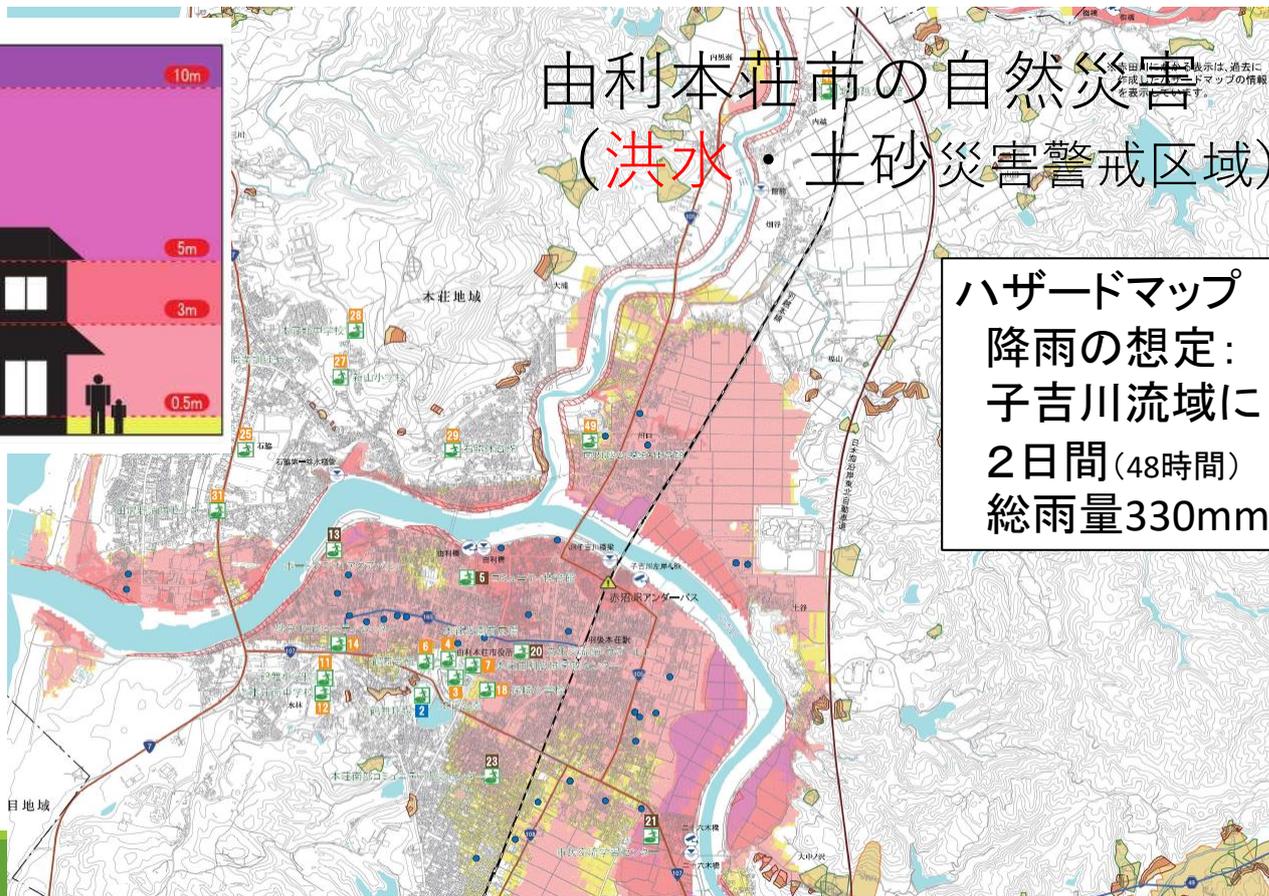


在宅避難





由利本荘市の自然災害 (洪水・土砂)災害警戒区域



ハザードマップ
 降雨の想定：
 子吉川流域に
 2日間(48時間)
 総雨量330mm

自助

自分と家族を守る防災活動

災害の情報を取りに行く



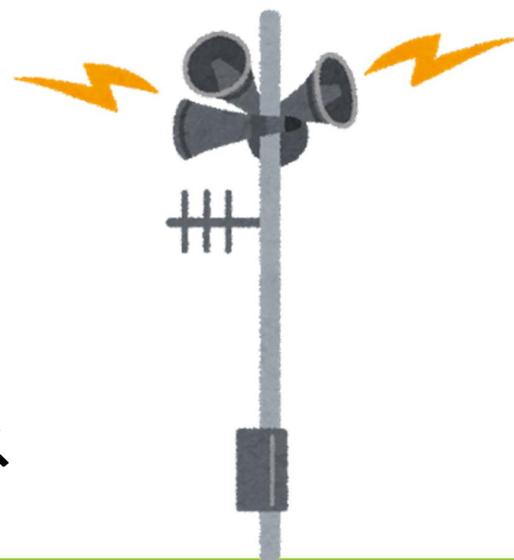
9

市からの情報発信

★市では災害が発生した場合
さまざまな手段で住民に情報を伝えます。

- ・同報系防災行政無線
- ・消防防災メール
- ・ホームページやSNS
- ・ヤフーの防災速報アプリ
- ・エリアメール
- ・NHKのデータ放送
- ・消防・防災テレフォンサービス

050-5536-7056



10

日常備蓄で備えよう



日常備蓄で災害に備えるべき物品

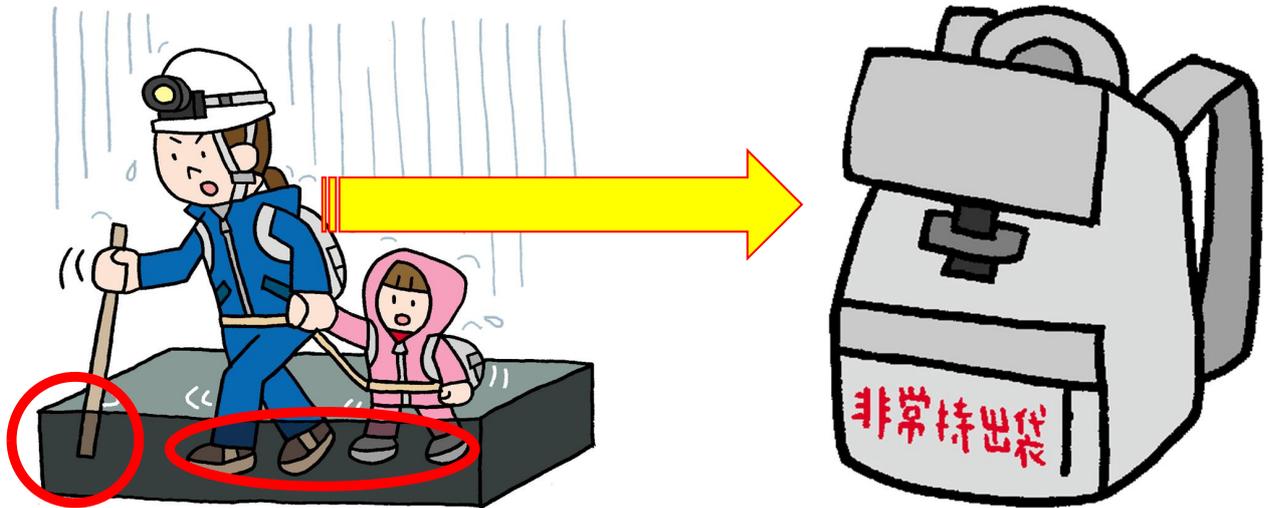
分類	日常使い（常にキープ）	数量
食品等	水	1人1日3ℓ
	無洗米	4kg
	レトルトご飯	27食
	乾麺 即席麺	3パック
	缶詰（サバ缶など）	9缶
	果物の缶詰	3缶
	レトルト食品	9個
	野菜ジュース	9本
	飲み物（500ml）	9本
	チーズ等	3パック
	お菓子	3パック
	栄養補助食品	9箱
	健康飲料粉末	9袋
	生活用品	ポリ袋
ラップ・アルミホイル		各1本
ティッシュペーパー		4箱
トイレトペーパー		4ロール
点火棒		1本
布製ガムテープ		2巻
軍手		9組
ビニール手袋		1箱

分類	日常使い（常にキープ）	数量
女性	生理用品	30個セット
	基礎化粧品	適宜
乳幼児	粉ミルク スティックタイプ	18食
	液体ミルク	18食
	7歳以下対応離乳食	9食
	お尻ふき	3パック
	おむつ	30個
	使い捨て哺乳瓶	18個
	おかゆ	9食
高齢者	補聴器用電池	適宜
	入れ歯洗浄剤	12錠
衛生用品	救急箱	1箱
	マスク	9枚
	常備薬	1箱
	除菌ウェットティッシュ	120枚
	使い捨てコンタクトレンズ	1人1か月分
	アルコールスプレー	2本
	歯磨き用ウェットティッシュ	90枚程度

定期的に使用確認	災害時に備えて準備	数量
	カセットコンロ	2台
	カセットボンベ	8本
	携帯・簡易トイレ	45回分
	懐中電灯	2灯
	LEDランタン	最低3台
	ヘッドライト	4個
	乾電池	適宜
	手回し充電式ラジオ	1台
	携帯電話 充電器	適宜
	リュックサック	1個

例：およそ3日～1週間程度の目安
（夫婦、乳幼児、高齢者の4人家族）

避難するときは



非常用持ち出し品 避難の際に持ち出すもの！

- 水
- 非常食
- 防災用ヘルメット・防災ずきん
- 衣類・下着
- レインウェア
- 懐中電灯（※手動充電式が便利）
- 携帯ラジオ（※手動充電式が便利）
- 予備電池・携帯充電器
- 救急用品
（ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など）
- 使い捨てカイロ
- ブランケット
- 軍手



- 洗面用具
- 歯ブラシ・歯磨き粉
- タオル
- ペン・ノート
- 感染症対策にも有効です!! —
- マスク
- 手指消毒用アルコール
- 石けん・ハンドソープ
- ウェットティッシュ
- 体温計



- 一緒に持ち出そう!! —
- 貴重品
（通帳、現金、パスポート、運転免許証、病院の診察券、マイナンバーカードなど）

子供がいる家庭の備え

- | | | | |
|-------------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 粉ミルク・液体ミルク | <input type="checkbox"/> 携帯カトラリー | <input type="checkbox"/> 携帯用お尻洗浄機 | <input type="checkbox"/> 子供の靴 |
| <input type="checkbox"/> 使い捨て哺乳瓶 | <input type="checkbox"/> 子供用紙おむつ | <input type="checkbox"/> ネックライト | <input type="checkbox"/> 紙のよだれかけ |
| <input type="checkbox"/> 離乳食 | <input type="checkbox"/> お尻ふき | <input type="checkbox"/> 抱っこひも | <input type="checkbox"/> 汚物袋 |

女性の備え

- | | | |
|----------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 生理用品 | <input type="checkbox"/> サニタリーショーツ | <input type="checkbox"/> 防犯ブザー／ホイッスル |
| <input type="checkbox"/> おりものシート | <input type="checkbox"/> 中身の見えないごみ袋 | |

高齢者がいる家庭の備え

- | | | |
|----------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 大人用紙パンツ | <input type="checkbox"/> 入れ歯 | <input type="checkbox"/> デリケートゾーンの洗浄剤 |
| <input type="checkbox"/> 杖 | <input type="checkbox"/> 入れ歯用洗浄剤 | <input type="checkbox"/> 持病の薬 |
| <input type="checkbox"/> 補聴器 | <input type="checkbox"/> 男性用吸水パッド | <input type="checkbox"/> お薬手帳のコピー |

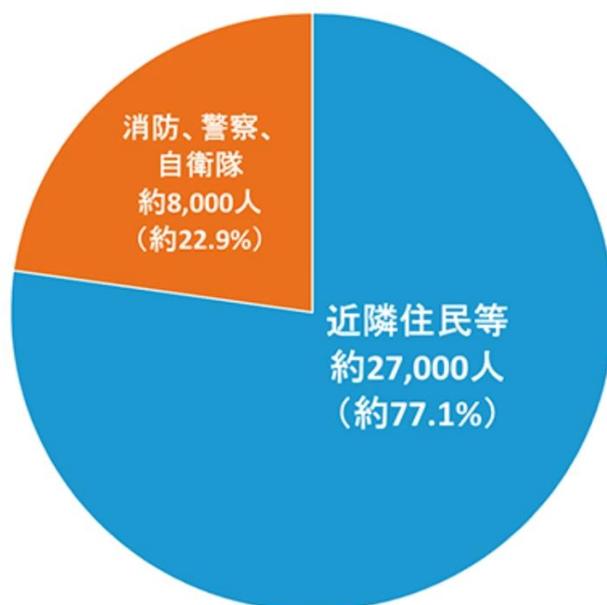


共助

自主防災組織、町内会など
住民が相互に助けあうこと

阪神淡路大震災での救助主体と搬出者数

令和3年度 防災白書より



隣近所の持つ最大の特徴は「即応性」にある

- 阪神・淡路大震災や東日本大震災のような災害が発生した場合、普段のように消防車や救急車が駆けつけることは困難
- 災害時の危険な場所、安全な場所、一人暮らしの方の家など、それぞれの**地域の実情を最も知っているのは 地域住民**
- 力を合わせて住民の方々が中心となり**地域の防災力を高めることが重要**

19

地域防災、何から始める？

- ① 地域に潜む、災害リスクを確認
→ ハザードマップを活用
- ② まずは自助
→ 自分と家族を守る準備を
- ③ 平常時のコミュニケーションを大切に
→ 近所にどんな方が住んでいますか



20

災害に備える“自主防災組織”について

- 「自分たちの地域は自分たちで守る」
という自覚、連帯感に基づき自主的に結成する組織
- 自分を守るのは自分
自分一人に対応できない状況においては
共助の力が必要

21

平常時の取組

- 地域内のパトロール
PTAの危険箇所点検と一緒に、
災害時に危険になりそうな場所を点検・確認
- 防災研修会の開催
(まちづくり宅配講座をご利用ください)
自主防災組織、老人会など
さまざまな目線・立場から考えよう

22

平常時の取組

▶ 防災訓練の実施など

○ 初期消火訓練、避難誘導訓練

○ 炊き出し→お祭りや行事の懇親会で！

○ 町内会で訓練、備蓄

（由利本荘市自主防災組織活動促進事業補助金）



むこう三軒両隣・たすけあい事業



Ver.3

事業目的

自主防災組織や町内会の防災活動を活発化し、一人一人の防災意識の向上を図ると共に、防災活動をきっかけとした地域の絆づくり、地域コミュニティの活性化を目指します。

“平時”も“災害時”も 支え合える「ご近助づきあい」を

Step1

地域の状況を確認しよう！
（まちづくり宅配講座を活用しよう）

内容

- ・地域に発生する可能性のある自然災害を確認
- ・ハザードマップの使い方
- ・近くの避難場所、避難所の確認
- ・避難行動要支援者について

Step2

「わがまち防災会議」を開催しよう！
（個別避難計画の作成）

内容

- ・ご近所の一人で避難することが困難な方（避難行動要支援者）の為に、むこう三軒両隣で、声をかけ、たすけあう避難行動の計画書「個別避難計画」を、避難支援者、関係者等が相談して作成します

Step3

避難訓練を実施しよう！
個別避難計画をもとに避難訓練の実施
（実効性の確認）

内容

- ・Step2で作成した「個別避難計画」をもとに、実際に避難訓練を行います。内容を検証して、より実効性のある計画になるよう、計画に磨きをかけていきます。

※ 地域の実情に合わせて事業を行います。まずは、担当へご相談ください。事務作業は担当がサポートします。

お問合せはコチラまで：由利本荘市総務部 危機管理課 TEL 0184-24-6238
又は、各総合支所市民サービス課

災害時の取組

➤ 情報収集、伝達

高齢者など、災害時の情報が届きにくい方へ、
ご近所が協力して、情報伝達

➤ 避難の誘導

➤ 避難所の運営、炊き出しなど

➤ 初期消火活動、救出、救護



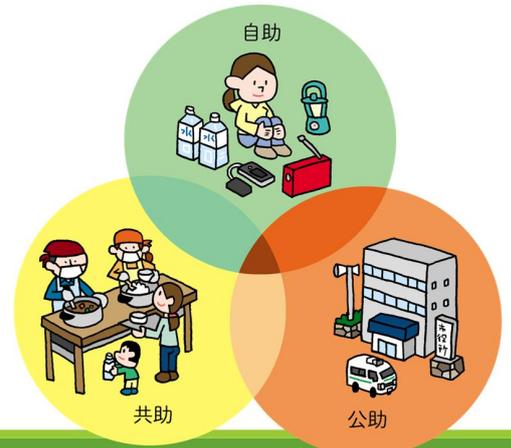
25

みんなが主役「地域防災」

➤ 一人一人の防災力をアップ

➤ ご近所で助け合うことによって、地域防災力のアップ

➤ 自助・共助・公助の連携で、 誰もが安全安心して暮らせる “災害につよいまち”を目指しましょう



26

いつ起こるかわからない災害に備えて

自分の命は、自ら守る！
一人ひとりの意識が 「共助」
地域防災力の向上へつながっていきます。



27

ご清聴ありがとうございました。

